

登録団体概要書

(令和4年2月作成)

(ふりがな) 団体名	とくていひえいりかつどうほうじん 特定非営利活動法人 どんぐりネットワーク		
代表者職・氏名	理事長 小林 剛		
主たる事務所の 所 在 地	〒761-0443 香川県高松市川島東町963番地1		
連絡先等	電話	087-840-4072	FAX 087-840-4073
	e-mail	dongurinetwokr@gmail.com	
	ホームページ	https://www.donguri-net.com/	
法人設立年月	1999年 8月	正会員数	125人
活動目的 (定款に記載された目的)	森づくり活動及び森林に関する文化的な活動を行うとともに、子どもたちを中心に市民に対して森林体験を提供する活動をとおして、良好な自然環境の維持・創出、環境保全思想の普及並びに地域の人々の健全な心身の育成を推進し、ひいては地域社会の健全な発展に寄与することを目的とする。また、市民、森林所有者、行政、企業などが協力しあって、多様な人々が森づくりに参加できる環境をつくり、人と森林が共生できる社会の実現に貢献することを目的とする。		
主たる活動分野	(1) 環境の保全を図る活動 (2) 子どもの健全育成を図る活動 (3) 社会教育の推進を図る活動		
活動状況	主な活動	・香川県立森林公園ドングリランドの管理運営(指定管理者) ・市民参加型の森林保全活動の企画運営 ・森林を活用した環境学習活動の企画運営 ・幼稚園、保育園、小学校等への環境教育プログラムの提供、支援 ・里山や森林の保全に関わる人材の育成活動 ・里山の自然環境を保全するための調査研究活動	
	活動地域	香川県全域	
	活動頻度	通年	
	過去の事業実績	・ドングリランド指定管理業務の受託(H18年より) ・市民参加型の森林保全活動の実施(R2年実績:42回300名) ・森林を活用した環境学習活動の実施(R2年実績:60回2382名) ・幼稚園、保育園、小学校等への出張授業(R2年実績:15回478名) ・モニタリングサイト1000里地調査の実施(H30年より)	
今後の活動方針	①森・里山を育む、②森・里山を楽しむ、③森・里山を知る、④森・里山に関わる人を育むという4つの活動方針を軸に、環境保全・環境教育・人材育成に取り組み、里地・里山の再生と健全な社会の形成、発展に寄与していく。		

県民への P R

私たちどんぐりネットワークは、どんぐり銀行の活動支援ボランティアから始まり、平成11年に県内最初の環境保全分野のN P O法人として活動を続けて参りました。香川県は全国的に見ても里山の森林が多い地域ですが、他の都道府県同様に里山はほとんど使われなくなっています。このような管理されなくなった里山は貴重な生物が住みにくくなったり、野生動物による被害が増えたりといったことが起こっています。また子ども達が自然について体験する場も減っており、どのように次世代に受け継いでいくかという課題もあります。

このような問題に対して私たちは貴重な生物が住める場所や、県民の皆様に森林の大切さを知って頂く場所として、里山を維持・管理する活動を続けています。同時に様々なイベントやどんぐり銀行などの活動を通じて、子ども達をはじめとする市民の皆様に里山の大切さを伝えることもおこなっています。このような活動はすぐに結果が出る活動ではなく、時間のかかる活動でもあります。現在、そして将来のかがわの自然を守り、育み、伝えるために私たちの活動にご賛同いただき、ご支援をお願いいたします。

(注1)団体登録された場合、この概要書は、寄附を検討する県民への資料として、公開されます。

(注2)枠内に記入できない場合は、枠を広げて記入ください。A4版であれば、複数枚になっても結構です。

活動状況報告書

(令和4年2月作成)

団体名 特定非営利活動法人 どんぐりネットワーク

登録要件	登録要件に関する団体の活動状況等
広く県民を対象とするNPO活動を行っていること	里山の森林に触れられる場としての県立森林公園ドングリランドの管理・運営（指定管理者）をおこなっております。また県民の皆様に里山の森林の大切さや維持管理の一端を体験して頂く「ドングリランドの森づくり」、次世代の子ども達に里山の自然を体験して頂く「むしむし探検隊」や「里山まるごとキャンプ」といったイベントを企画・運営しております。こうしたイベントを通して県民の皆様にかがわの自然を知り、親しむ機会を提供しております。 それ以外にもどんぐり銀行の窓口業務等をおこなっており、どんぐり銀行の普及啓発活動にも取り組んでおります。
より公益性の高いNPO活動を行っていること	教育機関や各種団体に対して環境教育プログラム（ガイド付き森林散策、どんぐりを使った工作等）を提供し、主に子どもたちが自然を知り、親しむ機会の提供をおこなっております。他にも大学の演習や実習の場所としてドングリランドを活用して頂いております。 また、大学の研究活動に対する場所の提供や支援、平成30年からは環境省モニタリングサイト1000里地調査を開始し、里山の変化を科学的な視点から捉える活動にも取り組んでおります。 この他にも香川県の体験型環境学習プログラムの実施団体として、県下の幼稚園、小学校等へ出向き、里山の森林のお話やどんぐりや間伐材を使ったクラフト工作等を通して、里山に親しむことや大切さを伝える活動を行っております。
活発なNPO活動を継続的に行い、当該活動に発展性及び模範性があること	平成5年のどんぐり銀行の活動支援ボランティアから始まり、25年以上にわたって、「どんぐり」をキーワードに里山の森林を守り、伝える活動を続けて参りました。里山は人間の活動の影響を強く受ける自然のひとつであり、その変化を捉えていくことも重要です。そうした点から大学の研究活動への支援以外にも、里山の生物の変化を調査する活動も開始しました。 森・里山を育み、楽しみ、知るという活動は一朝一夕でできるものではなく、またこうした活動に関わる人材の育成も短い期間でできるものではありません。次の25年のみならずその先も見据えた活動を目指して、地域の方々をはじめ幅広い県民の皆様と共に歩んでいきたいと考えております。

(注1)この報告書は、団体の活動内容が登録要件を満たしているかを審査するための資料として用い、また、団体登録された場合、寄附を検討する県民への資料として、公開されます。

(注2)枠内に記入できない場合は、枠を広げて記入ください。A4版であれば、複数枚になっても結構です。

(注3)活動の状況等が分かる資料等があれば添付ください。

